

# オリンピックへの道



市川選手

再びスタートラインへ  
 走ることが好きで陸上を始め、中学3年生からは本格的に短距離の練習に取り組みました。徐々に結果を残せるようになり、大学に



陸上競技・短距離  
 市川 華菜 選手

## 支えてくれる人たちのために走る 一歩一歩、オリンピックへ

学中にはロンドンオリンピックにもリレーで出場。心身共に充実していました。

けれど社会人になってすぐにけがをしたことで状況は一変。ジョギングをするのも精一杯で、落ち込む日々が続きました。

それでも家族や会社の方の支え、新しいトレーナーとの出会いに恵まれ、ゼロからやり直すことを決意。約3年かかりましたが、昨年には自己ベストを記録し、日本選手権でも優勝。「やってきたことは間違っていなかった」と自信

を取り戻し、再びスタートラインに立てています。

### 怪我から学んだ感謝

改めて振り返ってみても、あの3年間は本当に辛く、周囲の支えがなければ心が折れていたと思います。そのため、「支えてくれる人たちのために走りたい」という新たな気持ちで芽生え、だんだん強くなっていきました。

スポーツは決して一人ではできません。サポートしてくれる方、応援してくださる方々、高め合える仲間のことを思いながら競技に取り組むことは、自分の力にもなります。だから私は、感謝するということをいつも心掛けています。

### 世界を広げるきっかけに

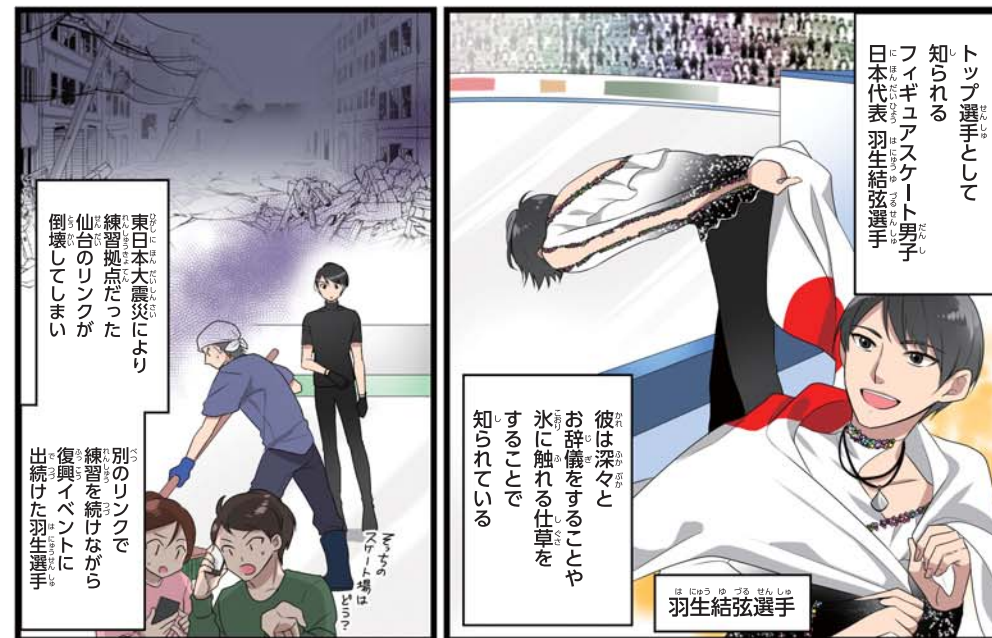
2020年の東京オリンピックに向けて、陸上もますます盛り上



「フェアプレイ宣言」しました!!

がっていくと思います。「人間って、こんなに速く走れるんだ」と驚くほどのスピード感、ぜひ競技場で実際に見てほしいですね。また、ボランティアなどを通じて関わることもできるのも、開催国ならではのポイント。積極的に参加してみれば、きっと自分の世界を広げられる良いきっかけになると思います。

私自身も、東京オリンピックでの個人種目出場は大きな目標です。でもそのためには、一歩一歩積み重ねていくことが大切。まずは目の前の試合、そして記録の樹立を目指して頑張ります。



## 演技でできるまうどへの感謝

だから「今回もケガしないで済んだ」「最後まで滑らせていただいた」というのをちゃんと考えながらお礼をしなければと

とき かんしゃ わす  
**どんな時も感謝を忘れないようにしよう!**  
 正々くるところからのひとこと

体協  
**フェアプレイ**  
 コース  
 2018年  
 1月29日号  
 Vol.92

フェアプレイで  
 日本を元気に  
 あくしゅ、あいさつ、ありがたう